

令和8年度
学校だより
6月号



さざなみ

奄美市立伊津部小学校
やるならなるで
ちゃんとやれ

奄美市の教育の基本理念を受けて！

校長 久田 武明

奄美市では、26年度から教育の目標スローガンを「地域(シマ)で教え、地域(シマ)に学ぶ、学びの循環」とし、「感性の教育」と「耐性の教育」を融合した「心の教育」を推進しています。この教育の基本理念では、「価値のあるものを感じる感性と、困難を乗り越える耐性を兼ね備えた『しなやかな心』を育み、変化の激しい時代においても柔軟に課題を解決できる力を育成する」とし、『感性の教育』+『耐性の教育』=『心の教育』が教育の柱とされています。

このことは、本校の学校教育目標「自ら学び 心豊かに強く生き抜く 伊津部の子の育成」にも合致するものであり、本校が長年にわたって教育理念の中核に位置付けてきたものであります。ただ、この目標が毎年十分に達成され、子どもたちの心にしっかりと根付いているとは言い難い面もあります。

さて、一つ目の「感性」について、以前お世話になった上司の言葉を思い出します。「子どもたちの心を育てるためには、教師自身が『良きを知り』、子どもたちを『良きに触れさせる』」というものです。ここ奄美大島には、豊かな海や山、亜熱帯特有の動植物に直接触れる体験的な機会が私たちの生活の身近にあります。子どもたちの五感を刺激し、潮の音や風の匂い、森の静けさ等、日常の中にある自然の営みに目を向けることで、豊かな感受性が育まれると考えます。また、脈々と受け継がれる先人の教えである「結の精神」(共に支え合う心や思いやりの言動等)に学び、人の美しい言動に触れる機会を大切にしていきたいと思えます。さらに、読書活動の充実を図ることで優れた文学や登場人物の生き方、美しい言葉や行動に触れることも感性を育む上で大切な要素であります。このように「良きに触れる」教育は、感性を磨き、豊かな人間性を育む基盤となると考えます。



二つ目の「耐性」について、以前の「根性論」をイメージされた方も少なくはないでしょう。ここで言う「耐性の教育」は、何も特別なことを行うのではなく、学校教育や家庭教育において、日常の関わりの中で自然に育てていくものであると、私は勝手に解釈し捉えています。具体的には、学校で又は家庭で子どもが小さな困難に直面したときに、教師や親御さんがすぐに手を差し伸べるのではなく、見守りながら自分で考えさせる姿勢が大切であると考えます。失敗をしても叱るのではなく、寛容な態度でそのことを受け止め、「次、どうすればよかったかな」と共に振り返ることで、乗り越える力が少しずつ育つものと思えます。また、結果重視ではなく、その努力や過程を認める言葉かけをすることで、「挑戦しても大丈夫」という安心感が生まれます。学校や家庭は、子どもたちが安心して本音を話せる場でありたいと願います。子どもたちは、この安心した環境の中で気持ちを受け止めてもらえる経験を通して自身の心を強くしていくものと思えます。このように安心できる環境の中で支えられながら試行錯誤することが、耐性づくりの基盤となると考えます。

「感性の教育」+「耐性の教育」=「心の教育」を、学校と家庭で歩調を合わせながら推進してまいりましょう。

歯と口の健康(むし歯0をめざして)

6月8日から12日の一週間を校内歯と口の健康週間とし取り組みました。家庭へも協力いただき歯みがきカードの取組も行いました。ご協力ありがとうございました。欠席の児童1名を除き、歯科受診も実施し、各家庭へお知らせを配布しています。

ここ数年、治療状況が60%下回っており、今年度の未処置歯数は287本、未処置者数は65人です。むし歯や歯肉の炎症等は、早期に治療・管理することで子供たちの健康な歯を守ることに繋がります。夏休みを利用して必ず受診をお願いします。受信後は、結果報告書を学校までご提出ください。



「親睦」「奉仕」「連携」 PTA活動

ソフトバレーボール大会

5月30日笑顔いっぱいのプレーや応援。白熱した試合となりました。接戦を制したのは5年生。2位4年生、3位6年生でした。



第1回愛校作業

6月21日校庭の木の伐採や体育館周辺や上校庭、学校周辺の除草にご協力いただきました。今回、クリーンセンターへ持ち込んだ量は、850Kgでした。ありがとうございました。



3校合同PTA理事会&懇親会

6月5日唐浜集会所にて金久中校区3校合同理事会を開催しました。各学校の課題や取組など多くの情報交換ができました。



修学旅行

「笑顔」「学び」「なかま」

「みんなが笑顔の時間をつくる」を目標にした2泊3日の修学旅行。事前に計画し、学習してきた姿が見えました。たくさんの笑顔と真剣に学ぶ姿勢、なかまを大事に思う姿。大切な思い出ができました。最学年としてのこれからの頑張りが楽しみです。



入賞おめでとう!

第21回「住みよい環境を守る」標語作品展において、最優秀賞に5年畑さん・6年中村さん、優秀賞に5年別府さん・6年田原さん、佳作に5年岩崎さん、6年鳥入さんが受賞し、学校賞をいただきました。

やむらん
目覚めると聞こえてくる鳥の声
これこそ鳥ぬき
五年 畑

鳥のまどから見えるもの
みんなが守るべきもの
わたしが守るべきもの
さらさら光る奄美の海
五年 別府

私の奄美 みんなの奄美
ばいすてしてたら みんなで拾う
今のためにも未来のためにも
五年 岩崎

「すかまや うがみんしゅうらん。」
心もみがく清掃日
奄美の風が 笑顔を運ぶ
六年 中村

「だれかがやる」から「私がやる」へ
「だれかが拾う」から「私が拾う」へ
「だれかが守る」から「私が守る」へ
そう決意した 11歳の夏休み
六年 田原

ウミガメのぼくは見た
ゴミを拾う
あなたのやさしい表情を
奄美の海を守る
あなたの真剣な心を
六年 鳥入